学校だより　　平成２８年１月号

かつき

志布志市立香月小学校

新年あけましておめでとう

～心に残る三学期に～

校　長　　中條　健一郎

元日の朝　新しい年が明けた。いつもと変わらない朝をむかえたはずなのに，周りの空気までどこか改まった感じがしてすがすがしい。心機一転，踏み出そうとする前向きな気持ちになれるから不思議だ。どんな人も，昨年がどんな年であったとしても「今年こそはよい年にするぞ。」と自分を奮い立たせる。だからこそ，昔から「一年の計は元旦にあり」といわれている。

「春風や　闘志抱きて　丘に立つ」虚子

始業式の児童代表挨拶で五年生の中村百花さんと小林勇太郎くんが三学期の抱負を述べてくれた。聞いていた誰しもが,「私も毎日宅習をがんばろう」「持久走大会を目指して毎日練習するぞ」「家のお手伝いを頑張りたい」等々，それぞれに抱負を誓ったに違いない。明日からはこの気持ちを忘れることなく日々の努力をしてほしい。そして，大きな夢をぐっと引き寄せる一年になってほしいと祈るばかりだ。

雛人形職人は，様々な工程を経て最後人形に目を入れ命を吹き込む。それは，想像を超える緊張に包まれるという。この３学期，それぞれの学年のまとめとして，最後の目を一人ひとりの心に入れなければならない。子どもを取り巻く私たち大人が，大きな緊張感をもって最後の目をしっかり刻んでいきたい。

「校長先生，おはようございます。」白い息を弾ませながら，顔を真っ赤にして，子どもたちがかけよってくる。いつもの元気な子どもたちの声が学校に戻ってきた。近所の友と楽しく語らいながら登校してくる姿を，毎日たくさんの校区の方々が見守ってくださっている。この環境に感謝しながら，保護者・地域・学校で共に子どもの成長を願いたい。